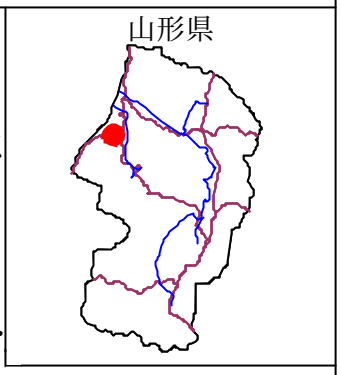
魅力ある都市づくり　「コンパクトシティ」の推進

事業名	まちづくり交付金　「鶴岡市街地区」　（補助：事業主体　鶴岡市） （山形県鶴岡市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成２１年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



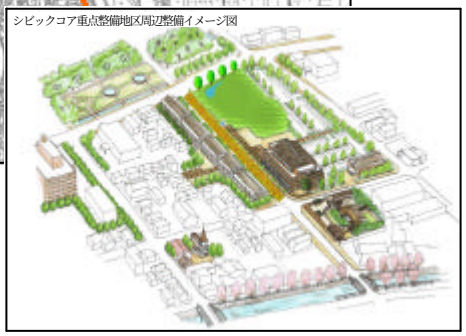
「事業の必要性」

少子高齢化に伴い、人口及び商業等の中心市街地空洞化より、都市の活力が低下しつつあることから、既存の都市ストックや立地特性を活かした拠点づくりが必要となっています。また、鶴岡ﾊﾞｲｵｷｬﾝﾊﾟｽ特区として研究環境の向上と生活環境の向上を図る必要があります。

「事業の概要」

拠点地区の連携強化、都市機能集積による賑わいのある中心市街地の再生、研究環境の向上を図るため、北部拠点のﾊﾞｲｵ研究産業支援施設、公園・緑地の整備、中心市街地の道路、市民ｾﾝﾀｰ等の整備を実施するとともに、ｼﾋﾞｯｸｺｱ計画（沿道建物景観、道路、歩道、公共施設の集積整備）の推進を図ります。





■まちづくり交付金による支援措置の拡充

「バイオ研究産業支援施設」を本位置に整備することにより、既に立地している慶応義塾大学の研究所等と連携して、効果的・効率的に高等教育研究機関の集積拡大が図られ、また、新たな産業と雇用の創出により、地域全体の活力向上が図られることなどから、市町村の提案による事業等に対する国費の割合を現行の１割から２割に引き上げる「支援措置拡充」の対象地区となっています。
＜従前の場合1,038百万円、支援措置拡充の場合1,168百万円＞

平成１７年度事業費及び事業内容

○事業費：390百万円（国費）
○バイオ研究産業支援施設、公園・緑地、市民ｾﾝﾀｰの整備、シビックコア地区内の旧庄内病院解体、駐車場整備に着手します。

事　業　効　果

○都市機能の連携強化により人口集積、地区来訪者・従業者数の増加が図られ、中心市街地の賑わいと活性化が図られます。